

〔D. U-NET株式会社〕
第10期 計算書類

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	<u>5,028,357</u>	流動負債	<u>1,279,762</u>
現金及び預金	411	未払金	944,136
売掛金	548,789	未払費用	4,742
材料貯蔵品	49	未払法人税等	269,856
前払費用	1,989	未払消費税等	23,355
関係会社余剰資金預け金	4,477,940	前受金	30,634
貸倒引当金(短)	△ 823	預り金	260
		賞与引当金	6,777
固定資産	<u>199,482</u>		
有形固定資産	<u>1,926</u>		
工具器具備品	3,223		
減価償却累計額	△ 1,297		
無形固定資産	<u>169,784</u>		
ソフトウェア	169,784		
投資その他の資産	<u>27,772</u>		
長期前払費用	177		
繰延税金資産	27,594		
		負 債 合 計	1,279,762
		純 資 産 の 部	
		株主資本	<u>3,948,077</u>
		資本金	<u>30,000</u>
		利益剰余金	<u>3,918,077</u>
		利益準備金	7,500
		その他利益剰余金	<u>3,910,577</u>
		繰越利益剰余金	3,910,577
		純 資 産 合 計	3,948,077
資 産 合 計	5,227,840	負債及び純資産 合計	5,227,840

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産
材料貯蔵品 総平均法に基づく原価法
なお、収益性の低下したたな卸資産については、帳簿価額を切下げております。

(2) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産 定率法
但し、平成10年4月1日以降に取得した建物については、定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下の通りです。
建物 18年
工具器具備品 5年

② 無形固定資産 定額法
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(4) 引当金の計上基準

① 賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

② 貸倒引当金 営業債権等の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒実績率により、回収不能見込額を計上しております。

2. 貸借対照表に関する注記

関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 4,784,882 千円
短期金銭債務 15,169 千円

3. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産
賞与引当金 2,344 千円
賞与引当金社会保険料 322 千円
未払事業税 24,643 千円
その他 284 千円
繰延税金資産合計 27,594 千円

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 6,580,129円55銭
1株当たり当期純利益 2,016,594円52銭

5. 当期純損益金額

1,209,956 千円

以上